

震災から5年は、節目ではなく通過点

忘れられゆく中でも、日本全国から届く祈りに感謝
こんにちは。いつもお祈りとご支援感謝致します。

3月11日で震災から5年となりました。震災に関しての捉え方も毎年個人差が大きくなっているように、住んでいると感じることがあります。ある人にとっては、震災があったから、小さな幸せに気づけたというポジティブな面を見れる方もいれば、震災によって多くを失い、大切な方を失った方もいらっしゃいます。私ができることは、岩手に移住してから一貫して「寄り添い続けること」だと思います。そして、私に与えられたチームと一致し続けることです。仲間と共に、これからも岩手沿岸の地域の祝福となっていけたら幸いです。震災から5年というのはメディアにとっては節目かもしれませんが、6年目以降はそういったものも減っていくと思われれます。



毎年3月11日は、釜石市
根浜海岸で仲間と過ごし
ます

▽特別企画「東京ホエムへ山口から東京へ」※今月号は4コマ漫画はお休みです。

▽私が十代だった頃、初めて池袋に来た時に「平日なのに、どうしてこんなに若い人が歩いていっているのか？今日は祭りの日か？」と思っ、それが普通の池袋なのだと思っ、こんな時人多くて、ぶち驚いたぞ

▽私が十代だった頃、初めて山手線に乗った時、ホームに降りて目の前で電車が発車して乗り過ぎてしまったと一人だけ後悔したが、二分後に次が来た。「田舎だ」と、二時間は待つっちゃね。

▽私が十代だった頃、東京の若人たちは何でも出本全員天才だと思っ、よくよく話を聞くと電車乗り方だけ詳しく、後は地元のことだけわかる田舎者だと知り安心した。「みんな同じ人間、ちゃ

しかし、そんな中でも山口県の諸教会をはじめ、日本中の教会が東北のためにこれからも祈り続けて下さる事に、感謝の思いが絶えません。この震災は必ず忘れられていくと思いますが、それでも覚えて下さっているというところに、私たちを忘れることなく愛して下さるイエスの愛の大きさを見ます。3月11日は沿岸部の多くの場所でキャンドルに火をともします。暗闇に輝く光のように、困難や苦しみの中でも希望があるということを私たちはこれからも伝え続けていきたいと願います。

3月3日。東北のみ放送のNHKの震災関連番組に、ほんの数分出演しました



ブレずに続けていると、こんなことも起きるのかと感じたことがありました。震災後から被災地の今を伝え続ける番組に出演し、自分のいじめられた過去から、人の気持ちを理解することを学び、それが震災後に岩手に移住するきっかけとなったという証をさせていただく機会を得ました。番組恒例らしい、スケッチブックには「受けるより与える方が幸いである」と御言葉を書かせていただきました。出演時間はほんの数分でしたが、証ができて感謝でした。

全国の若者が集まり、主の弟子を育てる弟子になることに燃えた YDS2016



3月19-21日に、香川県でYDS (Youth Disciplers Summit) が開催されました。YDSは去年に引き続き、2回目の開催で、全国から10代～20代を中心に若いクリスチャンたちが集まりました。

今回のテーマは「Just do it!～とにかくやってみよう～」でした。私自身、準備メンバーとして数ヶ月間、「YDS後もイエスさまに燃え続けるために備える思い」で毎週ネット会議を重ねてきました。準備は大変でしたが、YDS後に参加者から「燃えています!」「全国のネットワークで友達できた」という感想を聞くことができ、準備がんばってよかったなと思います。感謝です。僕も東北に移り住んでから、いつも心が燃えていたわけではなく、落ち込むことも多かったです。しかし、どのように困難を乗り越えたか、自分自身の経験を話す機会もあり感謝でした。具体的には、「励まし合える仲間との一致」「悪習慣をやめ、イエスさまに従い続ける」「ポジティブになる」などです。

今回はイスラム圏で宣教している宣教師の証もありました。そう言った地域では御言葉や聖書については、直接話すことはできません。もし話すと、共同体から追放されてしまうからです。しかし言葉ではなく、愛の実践を通して、関係を作り、イエスさまの愛を表すことができます。それを実践している証を聞き、すごく心が熱くなりました。小さなことですが、続けることが大事だ改めて思いました。この「関係を通して、イエスさまの愛を伝えること」は日本の宣教にも適応できると思います。

またYDSの2日目には実践の場としてみんなでアウトリーチ（外に出て行って、友達を作る）をしました。アウトリーチをしたことがない人も多かったのですが、それぞれにチャレンジがあり、それをチームで乗り越えて「私もできる」と自信を持てるような機会となっていました。僕の岩手で関わっている弟子も参加しましたが、YDS後は「今まで自分には弟子を育てるのはまだ早いと思っていたけど、一緒に時間を過ごすことで育てることを発見した。僕にもできそう」と話していたのが、うれしかたです。そうなんです。僕たちは弟子を作る弟子になれるんです! Just do it!!!

4年間続いた「キッズケ家」が一旦終わりました。

今年3月末で、2011年の12月から4年以上続いた主に小学生向けのミニストーリーである「キッズケ家」が終わりました。しかし、これは終わりではなく、4月からは中学生向けに「アライブ」というスモールグループを始まっています。アライブに集中するために、キッズケ家を閉じることにしたということです。3月31日は最後のキッズケ家ということで、みんなで4年間の写真のスライドショーを見たり、思い出を語り合ったりしました。

子どもたちの感想を聞きながら気づいたのは、キッズケ家は毎回毎回本当に楽しい企画が盛りだくさんで、子どもたちも特別な思い出をたくさん作れたということでした。震災を経験した子どもたちが、このようにたくさん笑顔になれる機会を共に体験できたことが本当に感謝だったと思います。お祈りありがとうございました。



山口コーチングセミナーに久しぶりに参加し、東北の証をさせていただきました。

今年は、海外の会議に参加したこともあり、1月に報告のために山口に帰ることはできませんでしたが、山口コーチングセミナーで証をさせていただくために、3月に山口に短期で帰りました。そもそも私自身、このコーチングセミナーがなければ東北に派遣されることもなかったもので、山口の諸教会の皆さんは私の生みの親です。なので、このセミナーで証させていただくのは、家族との再会であり感謝と喜びがあります。今回も支援団体がほとんど撤退した岩手沿岸部において、私たちが活動をし続けているという奇跡、神さまの業の素晴らしいさを共に分かち合う時間を持つことができました。

この1年での個人的な学びは、一致したチームで1人に関わるということです。1人の子どもを親1人で育てるのではなく、家族、友人、地域で育てるように、私たちが失われた人に対して、1対1の関わりだけでなく、一致したチームで関わる大事さを実感しています。特に岩手では、健全な人間関係のあるコミュニティが不足しているというニーズを、この4年間で発見しました。これからも岩手のチーム、地域教会、また全国のキリストの体と共に東北での宣教の働き、イエス様の愛をあらわしていくことを諦めずに続けていきたいと思えます。



主な活動報告	2月20・21日	OLD ウィンターキャンプ	今後の活動予定	4月26日～	山口県各地で東北活動報告
	2月26・27日	東北コーチングセミナー（大船渡）		5月中	佐賀の宣教師チーム訪問（武雄）
	3月15・16日	山口コーチングセミナー（山口）		6月20・21日	教会の7つの本質説明会（弘前）
	3月19～21日	YDS2016（香川）			

祈りの課題

- ・ 4月末から山口県内の教会を回って、東北宣教活動報告を行います。各報告の時間が祝福されるように、また山口の皆さんとの御霊の一致がよりあるようにもお祈りください。
- ・ YDSに参加したユースクリスチャンが、今後もイエスさまに燃え続けられるようにお祈りください。
- ・ 岩手の牧師先生方と、弘前市でのセミナー開催の準備をしています。お祈りください。

がんばれ!レノファ山口



プロスポーツチーム空白地域だった山口県によくできたJ2の「レノファ山口」に兄弟で観戦に行ってきました。東北から来たのに当日は凍えるほど寒く、レノファも負けて結果も寒かったですけど、男兄弟だけで初めて出かけるという史上初の試みはとても楽しい思い出になりました！感謝！

瀬 知行 山口県出身 平成元年8月9日生まれ 26歳 国内宣教師&保育士

瀬知行を支える会の住所：山口県山口市大内長野 633-1

ブログ：「ともだちだよブログ」 <http://blog.livedoor.jp/tomotomodati/>

支援献金の方法

私の活動は皆様の支援献金によって支えられております。経済的支援にご協力して下さる方はお手数ですが、以下のいずれかの方法で口座にお振込下さい。

ゆうちょ銀行口座番号：01350-2-99626 名義：瀬知行を支える会

他行からの振込 店名(店番) 一三九(イチサンキュウ) (139)

預金種目：当座 口座番号：0099626「瀬知行を支える会」

郵貯振替口座番号：01350-2-99626 名義「瀬知行を支える会」